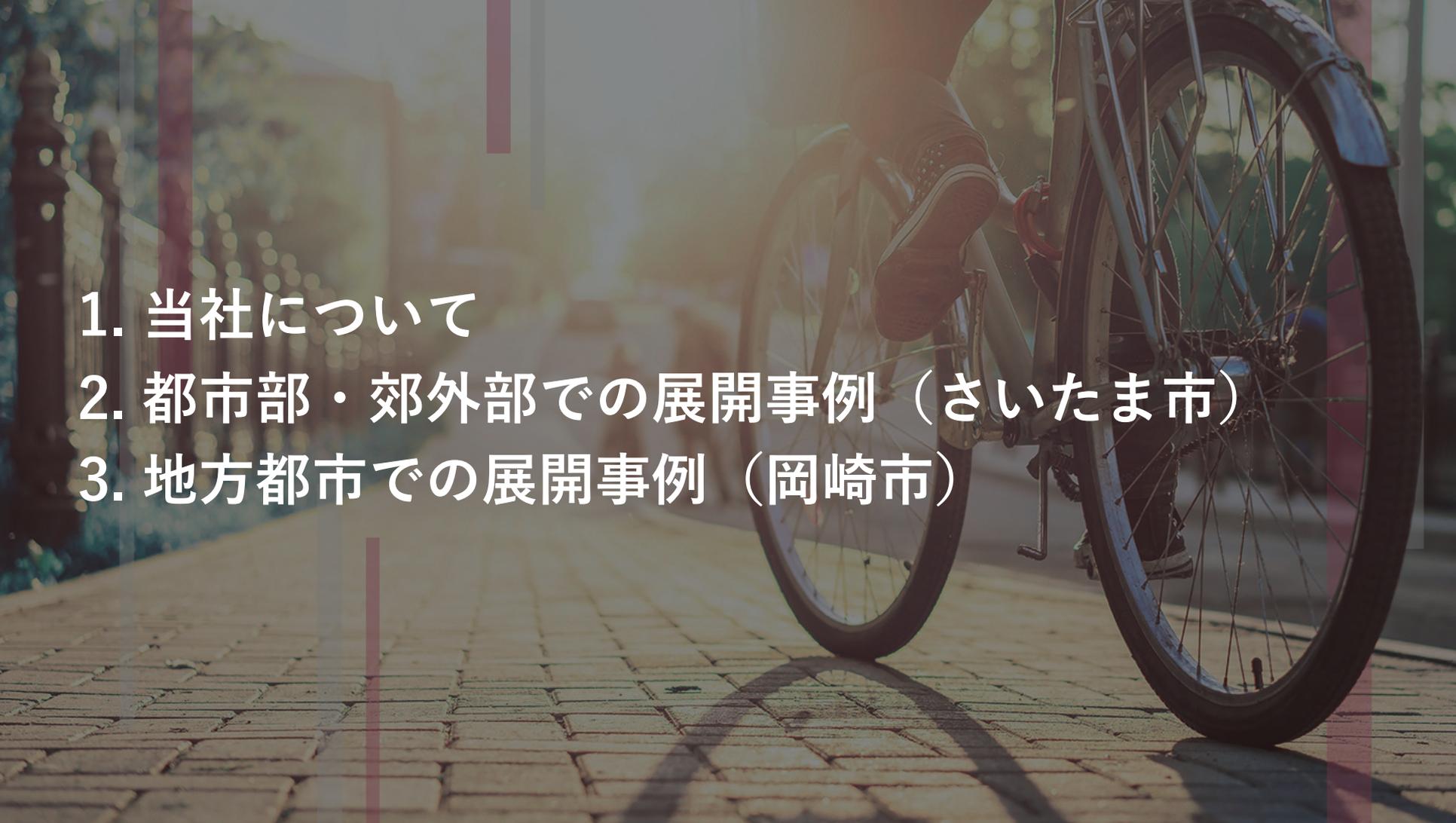


シェアードモビリティの可能性～自転車の潜在力～
OpenStreetが展開するマイクロモビリティサービス

OpenStreet株式会社

- 
1. 当社について
 2. 都市部・郊外部での展開事例（さいたま市）
 3. 地方都市での展開事例（岡崎市）

1. 当社について





会社名 : OpenStreet株式会社

株主構成

所在地 : 東京都港区

・ 経営陣

代表者 : 工藤 智彰

・ ソフトバンク株式会社

設立 : 2016年11月

・ Zコーポレーション株式会社 (ZHD100%子会社)

従業員数 : 110名 ※22年7月1日時点

・ SBIインベストメント株式会社

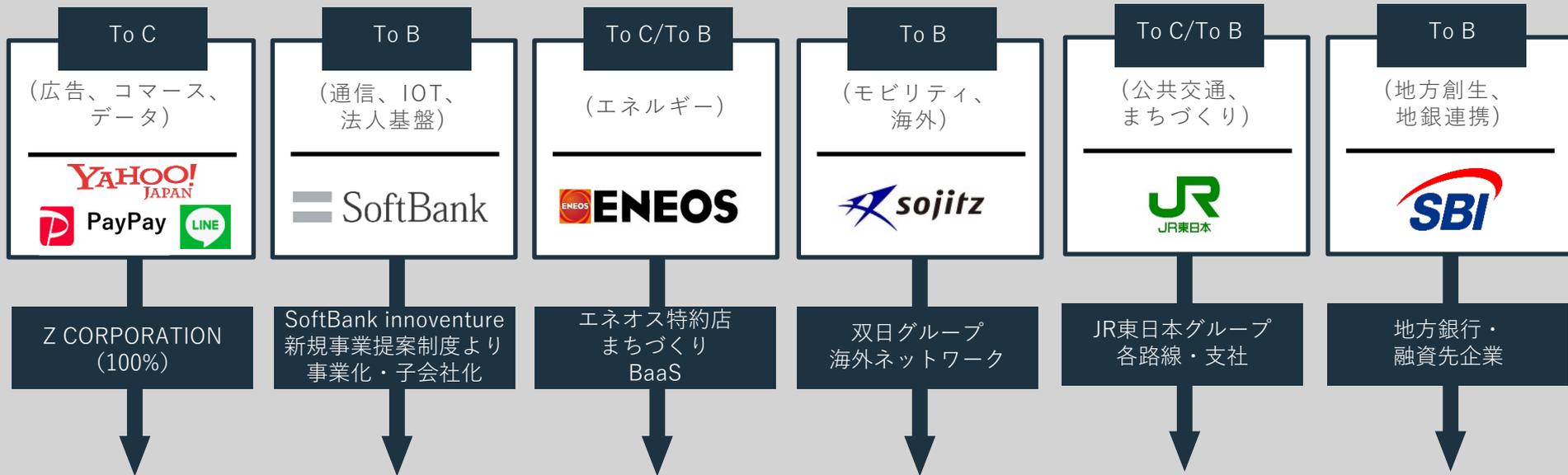
・ ENEOSホールディングス株式会社

・ 双日株式会社

・ 東日本旅客鉄道株式会社 (JR東日本)

※ファンド経由の間接投資含む

株主との事業シナジー



モビリティシェアリング
プラットフォーム



シェアモビリティ事業

マルチモビリティシェアリング
プラットフォームの運営



HELLO CYCLING

シェアサイクルプラットフォーム



HELLO MOBILITY

スクーター・小型EVシェア

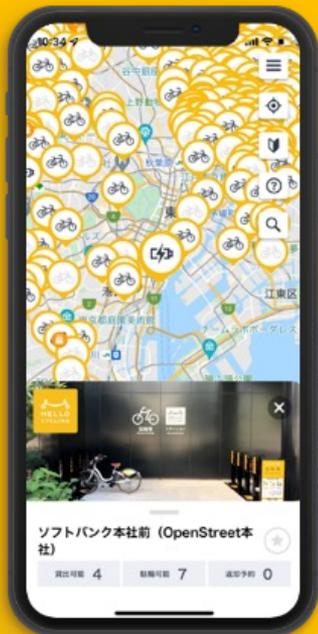
BLUU
SMART PARKING

駐車スペースシェア

スマートシティ/ゼロ・カーボンシティ

自治体との連携によるまちづくり領域





2016年11月に5ステーションよりサービススタート。
アプリより手軽にシェアサイクルが
利用できるサービスです。



2021.5
業界初 スポーツタイプE-bike
KUROAD 実証実験開始

2021.2
ステーション数 **4,600**

2021.10
累計 **会員数 100**万人突破!

2016.11
サービススタート
ステーション数 **5**

この3年間で
利用回数数 **3**倍

2019年よりサービススタート。

自転車のみならず、様々なモビリティをアプリよりシェアできます。



2019年～

HONDA

Gyro canopy

低燃費スクーター



2020年～

FOMM

FOMM one

小型EV自動車



2021年～

TOYOTA

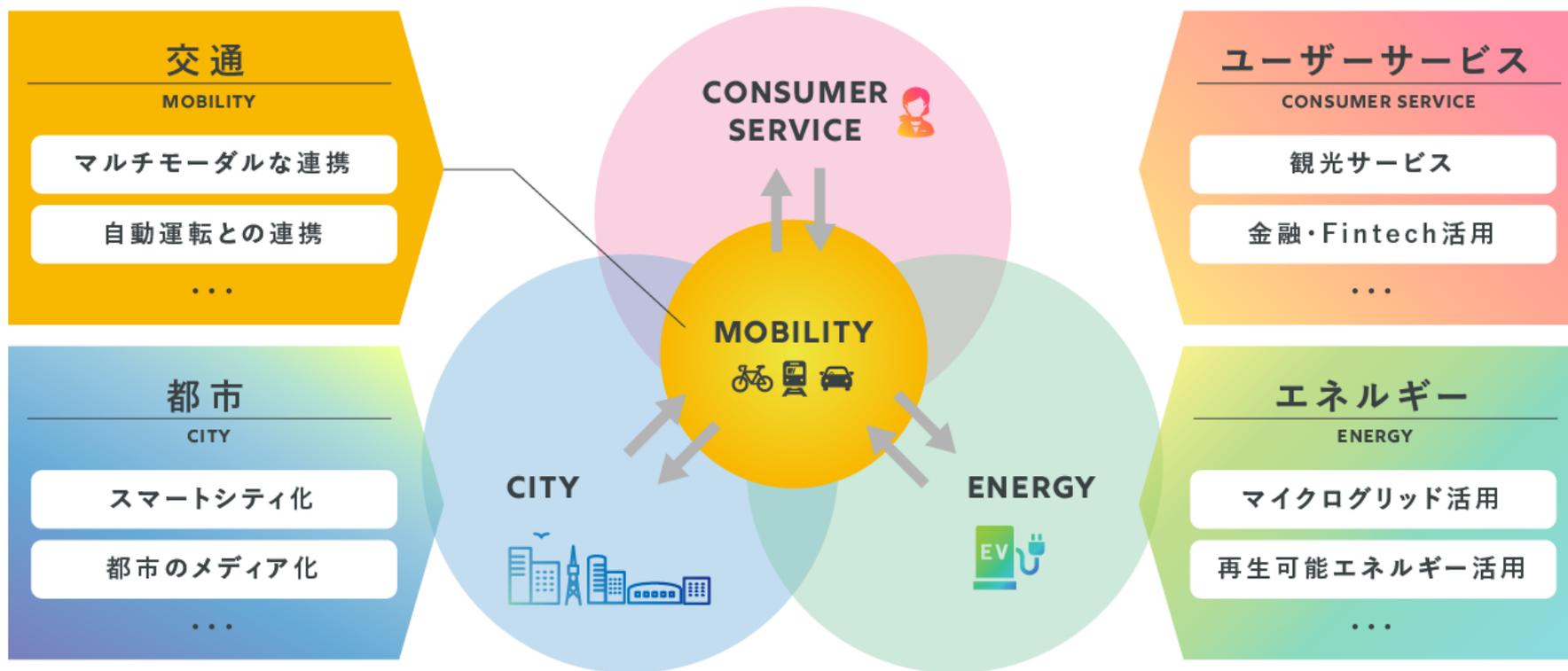
C+pod

小型EV自動車

免許を要する
モビリティの
シェア

多様な車種をアプリからシェアできる仕組みを開発しています

Mobilityサービスの交通インフラを軸とし、事業領域を拡大



マルチモビリティステーションのアップデート

マイクロモビリティ

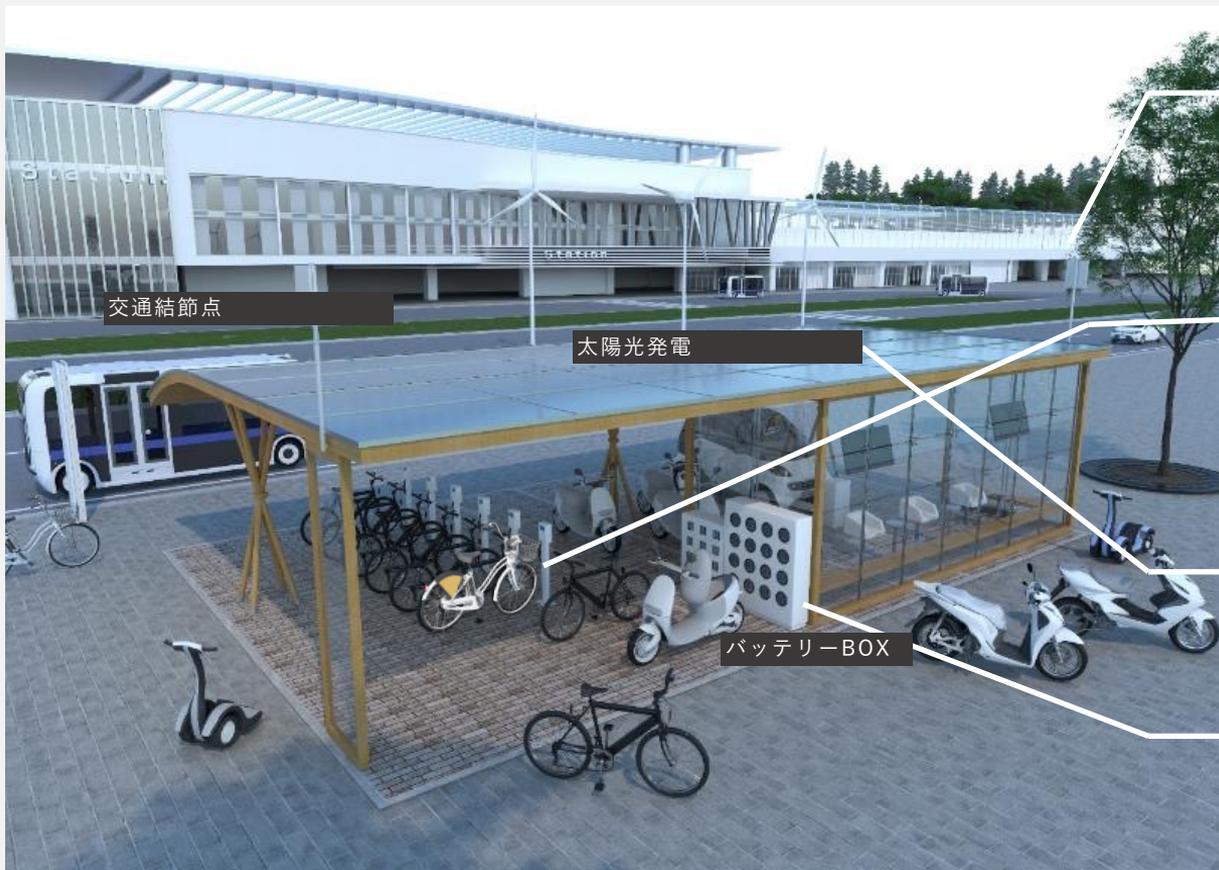
自転車



スクーター



小型EV



インフラ・その他



5G
アンテナ

5G/WiFi



チャージャー
Sta.

エネルギー供給

次世代エネルギー

再生可能エネルギー発電
蓄電システム



バッテリーBOX

エネルギー供給



2. 都市・郊外部での展開事例 ～さいたま市～

2018年より 新たな都市の交通システム構築を検証

2018年11月

シェアサイクル実証実験



公用地・民有地にステーションを配置
シェアサイクルの普及促進・データ活用

2019年8月

シェアスクーター実証実験



中長距離移動の快適性向上など
さらなる移動の利便性向上に向けた検証

2020年12月

シェア型マルチモビリティ実証実験



市内各所にマルチモビリティを配備し、
交通利便性向上・環境負荷の軽減等を検証

2022年3月

包括連携協定



まちづくり、環境保全、災害対策、
経済振興など多岐にわたる分野で連携

さいたま市スマートシティ実行計画

国土交通省都市局

77

[凡例] 赤字：課題・問題点等、青字：解決策等

■ 本実行計画の概要

駅を核としたスマート・ターミナル・シティを目指し、AI・IoT等のスマート化技術や官民データの活用により、地域課題・ニーズにきめ細かく対応することにより、①健康で環境にやさしい**脱クルマ依存型生活行動**を支え、**地域回遊性を高めるモビリティサービスを充実**させるとともに、②モビリティと**地域経済活動が連携した「ライフサポート型MaaS」**を構築・実装し、③SD都市モデルも活用した**スマートプランニング**の高度化・実践により**ウォーカーブルな都市空間・環境**の形成を促進する。

○スマートシティで解決したい都市インフラ関連の課題

市全域	中心市街地 (先行モデル：大宮駅・さいたま新都心駅周辺)	郊外住宅地 (先行モデル：美園地区)
<ul style="list-style-type: none"> ①幹線道路の慢性的な交通渋滞の解消 ②コロナ禍・Postコロナにおけるライフスタイル・価値観の変化に合わせた移動手段の充実とモード間連携・地域連携による公共交通の利便性向上・地域活性化 ③自家用車から徒歩・自転車・公共交通への行動変容促進 ④駅周辺におけるウォーカーブルな都市環境の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤鉄道駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消 ⑥東日本の玄関口としての交流拠点形成 ⑦大宮・さいたま新都心間の回遊性向上 ⑧商都大宮をはじめとするまちのにぎわい再生 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨生活拠点施設へのアクセス改善 (自家用車に依存した生活行動の解消) ⑩交通弱者の外出機会の創出 (新型コロナウイルス感染症に伴い外出機会が一層減少)

○課題解決の方向性

駅を核とした「スマート・ターミナル・シティ」

スマートシティ戦略で掲げる「市民のウェルビーイングな暮らしを実現する(スマートシティさいたま)」の実現に向け、駅を核としたウォーカーブルなものが移動しやすい、人中心に最適化された都市空間・環境を構築



<実施する施策>

- ①モビリティサービスの充実 (シェア型マルチモビリティ・AIオンデマンド)
- ②ライフサポート型MaaSの構築
- ③スマートプランニングによるウォーカーブルな都市空間・環境の形成

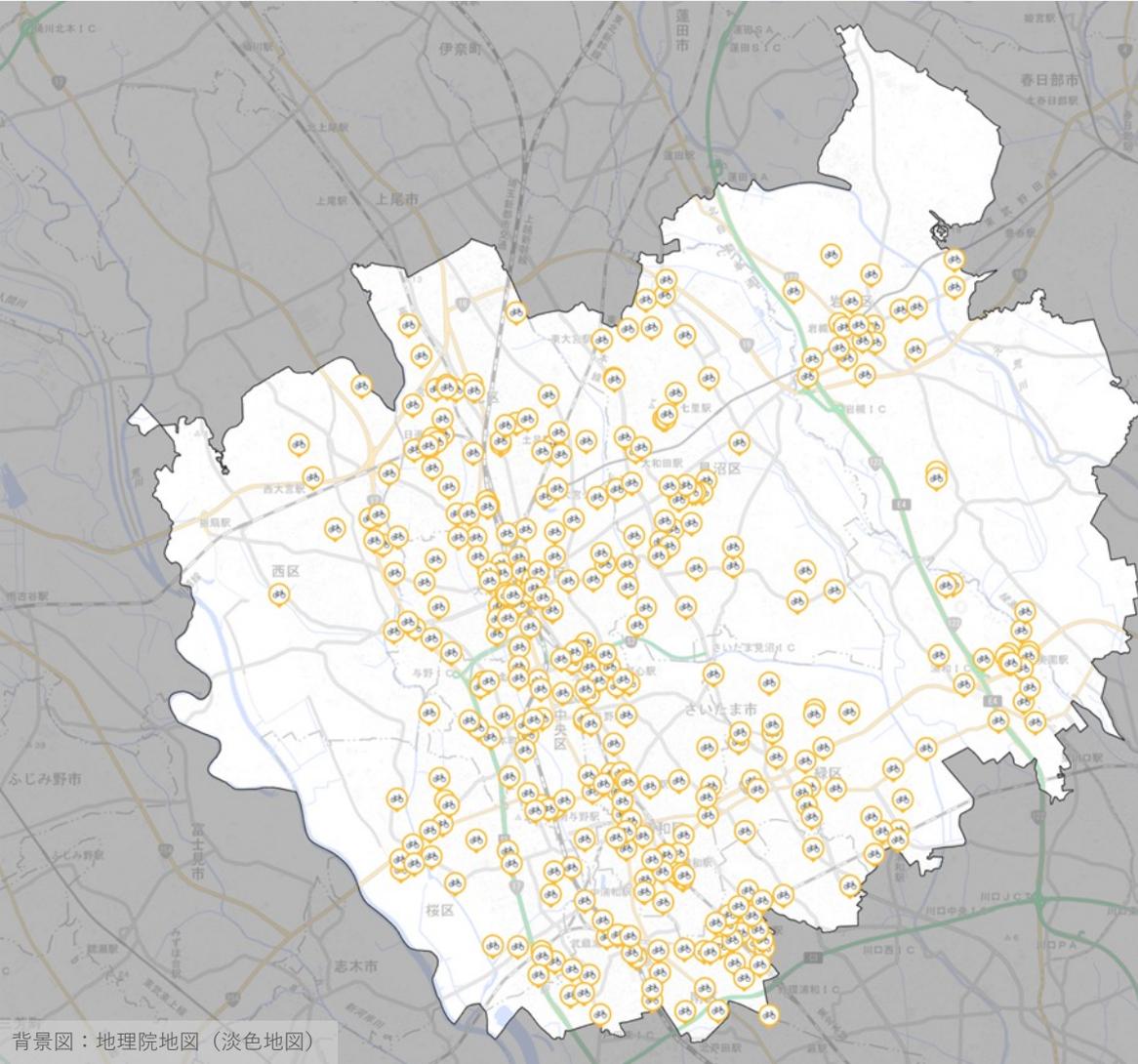
○市内先行モデル地区での実践 → 知見・成果を市内他地区・他都市へ展開



HELLO CYCLING



超小型EV



背景図：地理院地図（淡色地図）



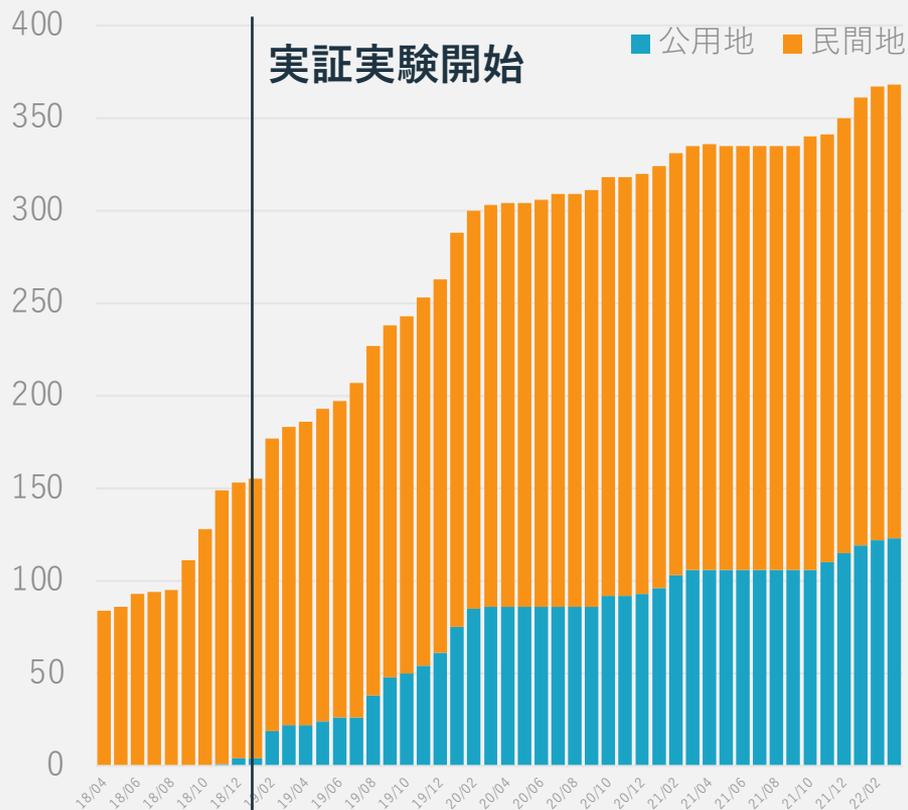
市内に371箇所
3,125ラック



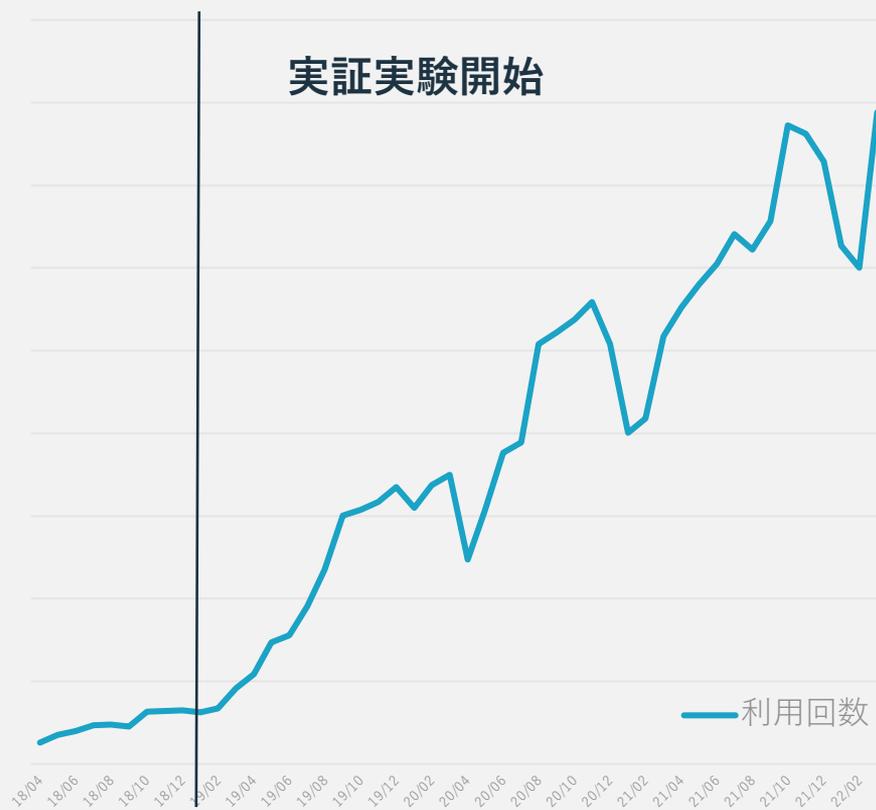
ステーション数・ラック数は2022年7月末時点

官民連携によるインフラ整備

ステーション数



利用回数



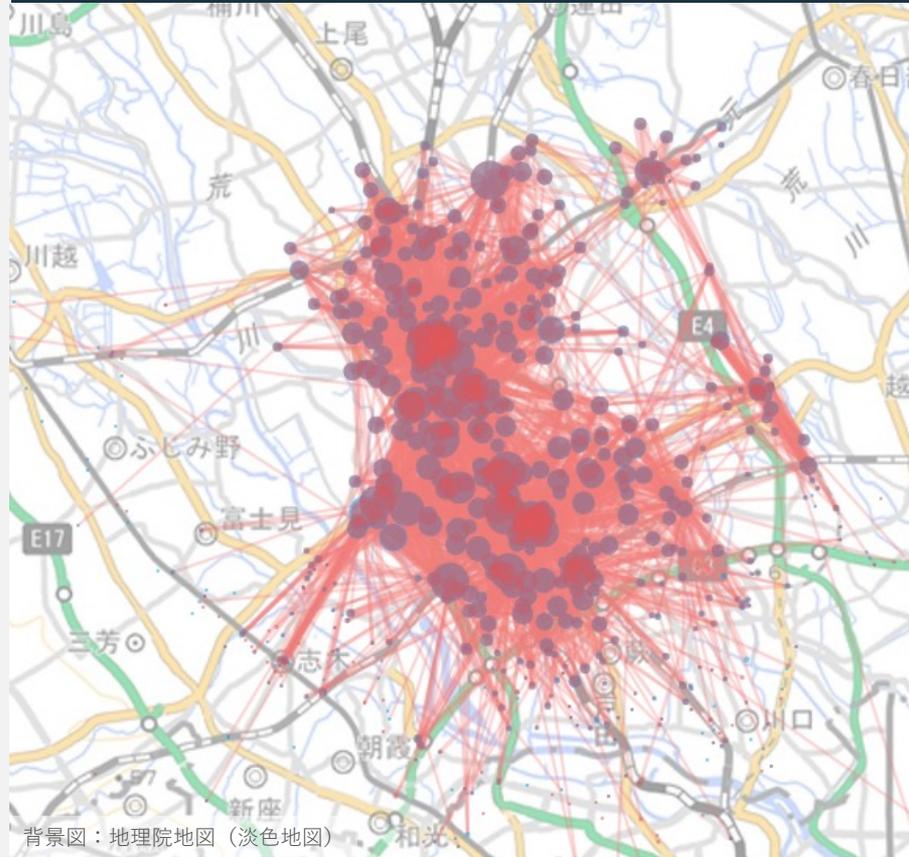
交通ネットワークとしての発展

2018年4月



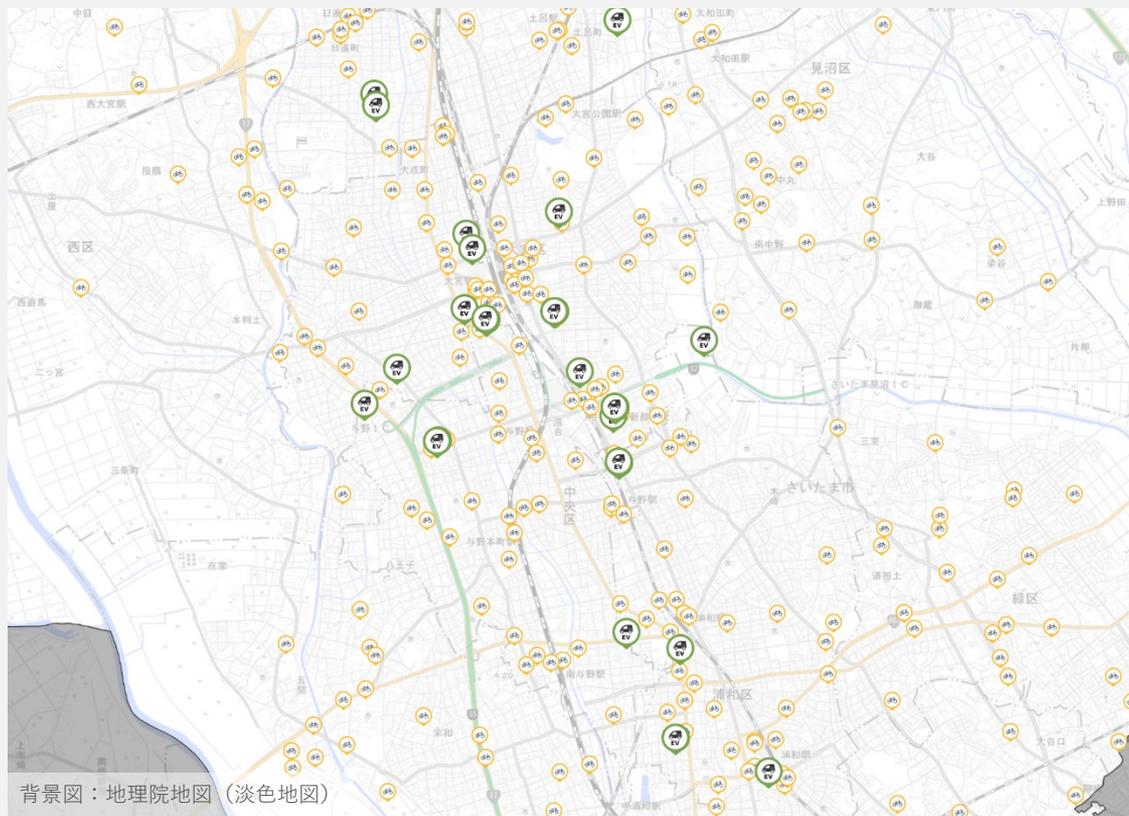
背景図：地理院地図（淡色地図）

2022年7月



背景図：地理院地図（淡色地図）

シェア型マルチモビリティ実証



新規ステーションの開拓

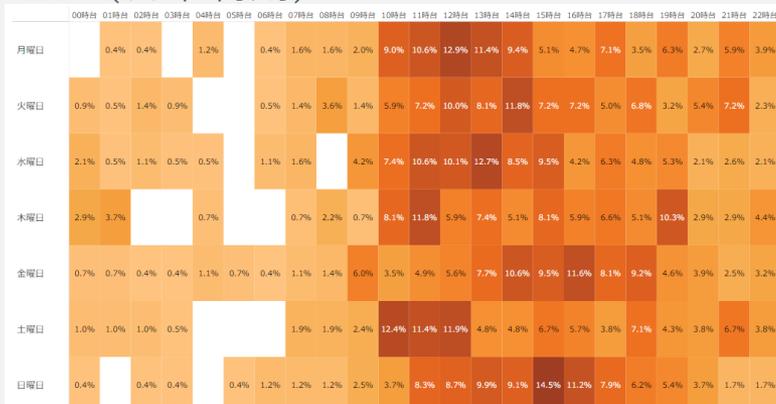
既存ステーションの
マルチ&エネルギーステーション化



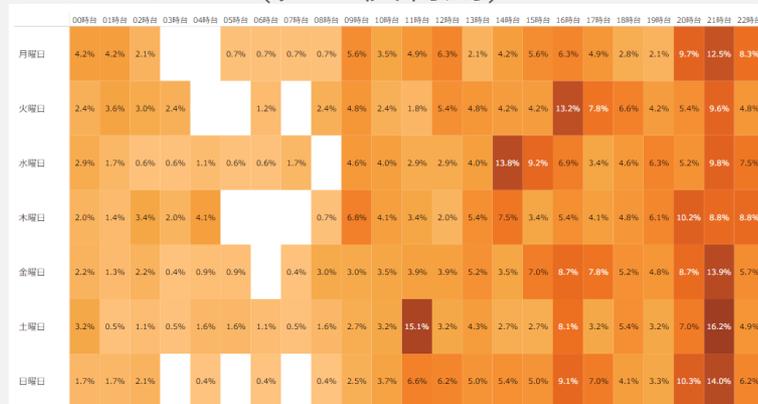
マルチモビリティの利用状況

モビリティによって異なる利用傾向が見えつつある

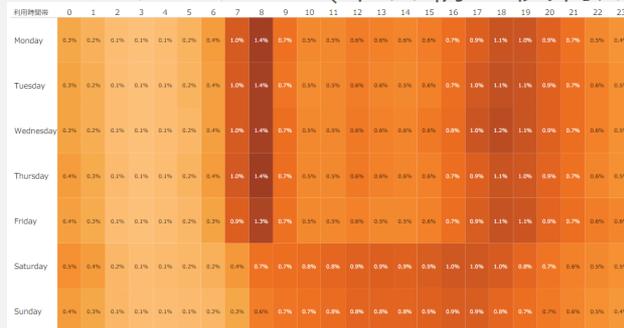
EV（日中利用）



スクーター（夕～夜利用）



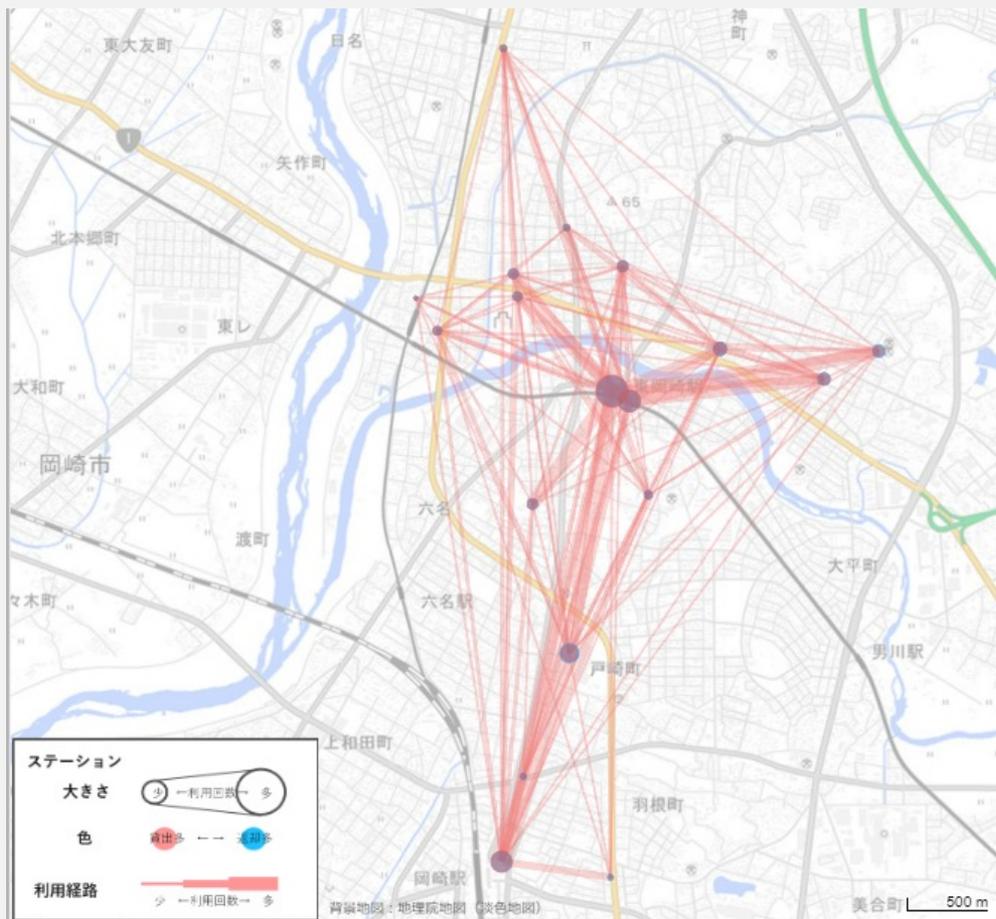
シェアサイクル（平日朝・夜利用）





2. 地方都市での展開事例 ～岡崎市～

岡崎市ステーション展開状況



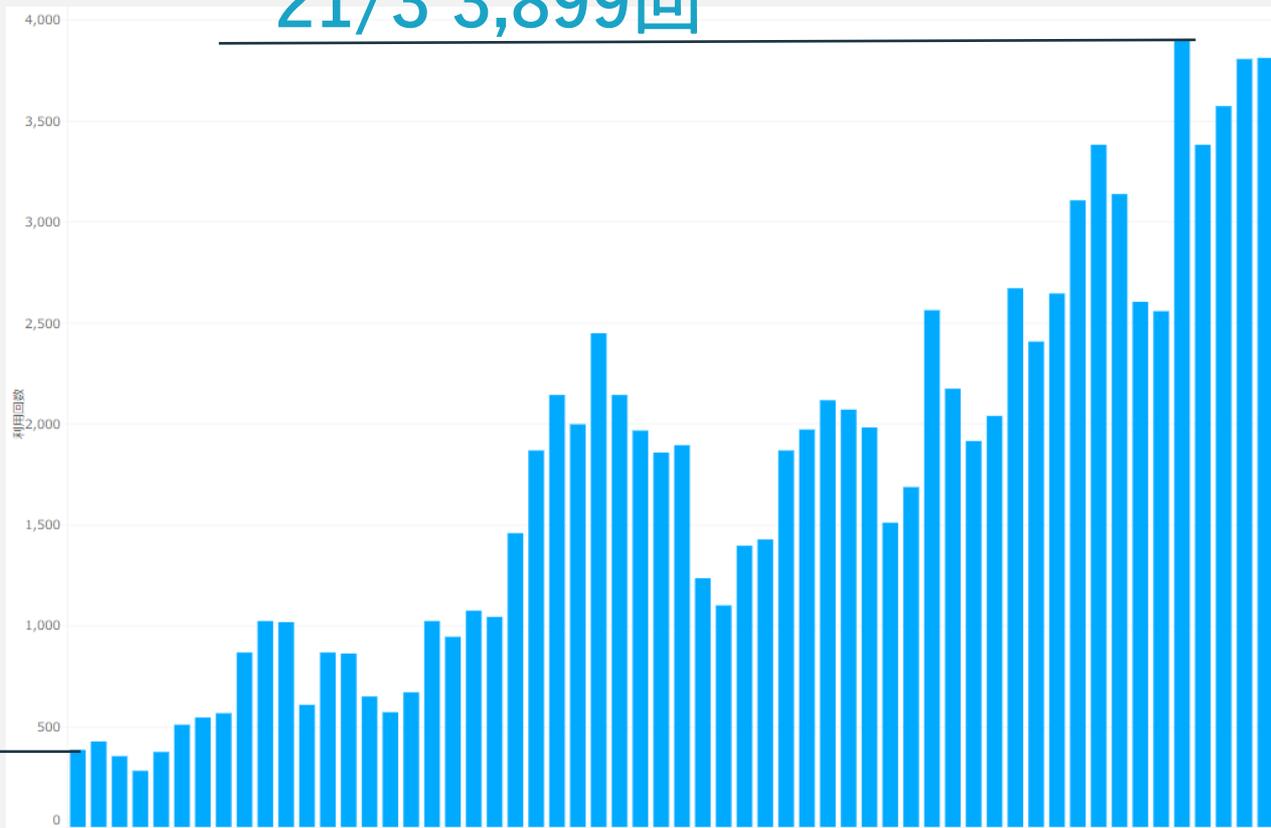
岡崎駅・東岡崎駅周辺の
商業施設や公共施設などへ
密度高くステーションを配置
(18ヶ所・135ラック)

4年間で
約10倍に
成長

開始時点

17/10 385回

21/3 3,899回



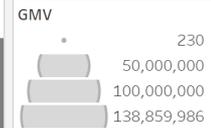
日本一、自転車1台あたりの売上が高い

自転車
あたり
売上
(月)



利用者あたり利用額 (月)

- 自転車企業
- 岡崎市
 - 伊豆長岡温泉エリマネ
 - (株)わか
 - Bamboo
 - ENEOSホールディン...
 - OpenStreet
 - TCN
 - あさひ
 - アトレ
 - エネファント
 - エリッツ
 - サイカパーキング
 - サイクルスポット
 - さくらコマース
 - シナネンモビリティ+
 - スカイツアーズ
 - つばめタクシー
 - トヨタモビリティ東京
 - ハローアイランド
 - プロトソリューション
 - まちづくり藤枝
 - ミクニ
 - 安曇野市観光協会
 - 沖縄ヤマハ
 - 加和太建設
 - 江ノ島電鉄株式会社
 - 高松市
 - 阪神ステーションネット...
 - 松本シェアサイクル
 - 池田市自転車シェアリ...
 - 筑西市



Youtuberによるプロモーション効果

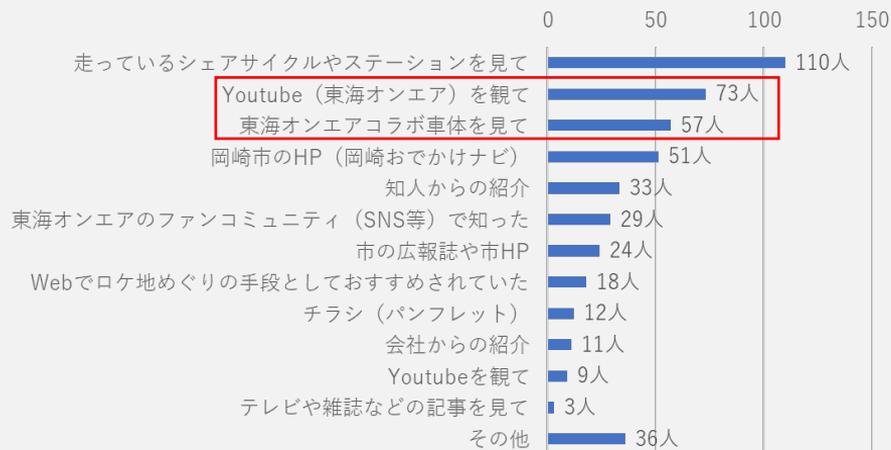
東海オンエアのラッピング車両を作成 Youtubeでのプロモーションも実施



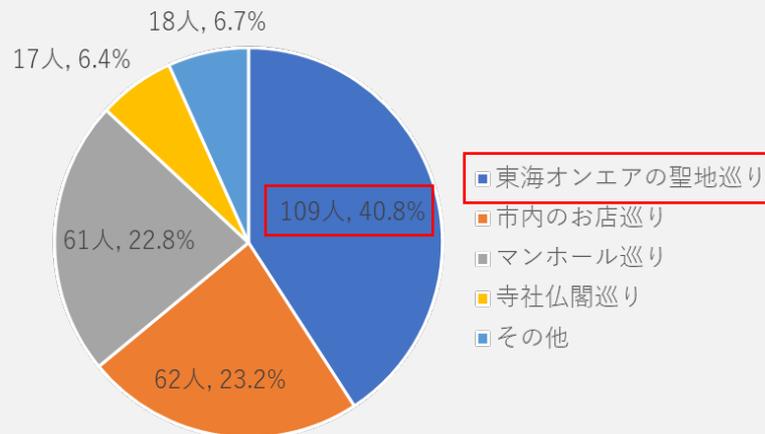
	車両番号: A6768 電池残量:  利用料金: 50円 / 15分 1000円 / 12時間		車両番号: A6767 電池残量:  利用料金: 50円 / 15分 1000円 / 12時間
<input type="button" value="選択"/>		<input type="button" value="選択"/>	
	車両番号: A6769 電池残量:  利用料金: 50円 / 15分 1000円 / 12時間		車両番号: A6770 電池残量:  利用料金: 50円 / 15分 1000円 / 12時間
<input type="button" value="選択"/>		<input type="button" value="選択"/>	
	車両番号: A6772 電池残量:  利用料金: 50円 / 15分 1000円 / 12時間		車両番号: A6771 電池残量:  利用料金: 50円 / 15分 1000円 / 12時間
<input type="button" value="選択"/>		<input type="button" value="選択"/>	

東海オンエア（youtuber）が 岡崎市における利用きっかけ・利用目的となっている

HELLOCYCLINGを知ったきっかけ



HELLOCYCLING利用者の観光目的





Open Street

オープンストリート

見慣れた街の、知らない世界へ